

問題 4

x の 3 次式で表される方程式を 3 次方程式という。

$x^3 = a$ のような 3 次方程式の解を求める場合、3 乗して a となる数を考える必要が出てくる。

実数の範囲で 3 乗して a となる数はただ一つ定まる (a 正でも負でも 0 でもよい)。この数を 3 乗根 (立方根) a といい、 $\sqrt[3]{a}$ と表す。例えば、

$$\sqrt[3]{0} = \sqrt[3]{0^3} = 0, \quad \sqrt[3]{27} = \sqrt[3]{3^3} = 3, \quad \sqrt[3]{-8} = \sqrt[3]{(-2)^3} = -2$$

となる。なお、3 乗根どうしの計算について、 $\sqrt[3]{a^2} = (\sqrt[3]{a})^2$, $\sqrt[3]{a} \times \sqrt[3]{b} = \sqrt[3]{ab}$, $\frac{\sqrt[3]{a}}{\sqrt[3]{b}} = \sqrt[3]{\frac{a}{b}}$ 等を用いてもよい。

- (1) $\sqrt[3]{64}$ を求めなさい。また、 $(\sqrt[3]{2} - 1)(\sqrt[3]{4} + \sqrt[3]{2} + 1)$ を計算しなさい。
- (2) 3 次方程式 $x^3 = 7 + 5\sqrt{2}$ を満たす実数 x が正の整数 a, b を用いて $x = a + b\sqrt{2}$ と表せるとき、 a, b の値を求めなさい。
- (3) 3 次方程式 $x^3 = mx + n \dots A$ の解の 1 つが実数 p, q を用いて $x = \sqrt[3]{p} + \sqrt[3]{q}$ (ただし、 $p > q$ とする) と表されたと仮定する。
 - (ア) 3 次方程式 A の左辺に $x = \sqrt[3]{p} + \sqrt[3]{q}$ を代入した式を計算しなさい。両辺を比較し、 $n = p + q$ と考えて m の値を実数 p, q を用いて表しなさい。
 - (イ) (ア)の結果を用いて、 pq 及び $(p - q)^2$ の値を m, n を用いて表しなさい。また、 $p - q$ の値を m, n を用いて表しなさい。
 - (ウ) (ア), (イ)より p, q の値を m, n を用いて表すことによって、3 次方程式 $x^3 = mx + n \dots A$ の解の 1 つを表す式を作りなさい。
- (4) 3 次方程式 $x^3 + ax^2 + bx + c = 0$ は、 $x = z - \frac{a}{3}$ とおくことによって A の形の 3 次方程式に変形できることを説明しなさい。
- (5) 3 次方程式 $x^3 + 3\sqrt{3}x^2 + 3x - 3\sqrt{3} - 9 = 0$ を(4)の方法で変形し、この方程式の解の 1 つを求めなさい。